

Input	
サブシナリオの作り方について。ドキュメントフォルダ内に格納されているサブシナリオのテンプレートは、コピーして作成中のシナリオ直下のフォルダに入れて使っても問題ないでしょうか？NTTAT様の推奨しているお作法のようなものはありますか？	シナリオ直下のフォルダにコピーし、お使いいただき問題ありません。 <b>Microsoft 365 / Google Workspace</b> の認証の部品は、ユーザ様の環境で採用されている方式にあわせ調整が必要なものと考えますので、ご活用ください。 相対パスでシナリオファイルのパスを指定した場合 ① シナリオファイルの配置されているフォルダ ② ドキュメントフォルダ下のWinActorフォルダ ③ WinActorのインストール先フォルダ の順番でファイルの探索が行われます。 ②のドキュメントフォルダ下のWinActor\subscenarios下をご利用いただく場合、 <b>NTTAT、NTTAT.ja</b> 配下は変更することがありますのでご利用はお避け下さい。 同様に③のインストール先フォルダについても変更することがありますのでご利用はお避け下さい。
Power Automateを意識して今後こういった改修をしようと思っている、みたいなお話し聞ければ聞いてみたい。頑張れWinActor！	ご声援ありがとうございます。 Power Automateと同じことをしても面白くありませんので、WinActorとPower Automate Desktopを連携させるサブシナリオを提供できないか検討中です。
見せて貰おう、WinActorの底力とやらを。	今回のLTはいかがでしたでしょうか WinActorチーム一同、常に最大火力で全力でございます。 (見せて貰おうか。連邦軍のモビルスーツの性能とやらをと言った人が、火力が違い過ぎると言って逃げて行った故事に基づいて回答させて頂きました)
バージョン毎の使用割合ってどんなもんですの？GoogleもMSもv7からの話よね？ほとんどのユーザーが旧バージョンやたらまですスマートな移行が課題よね？そういうテーマのイベントなんかどう？	バージョン毎の割合についてはLT資料での説明とさせていただきます。 <b>Google Workspace</b> 、及び、 <b>Microsoft365</b> 対応については、 <b>Ver.7.2.1</b> からの機能となります。 <b>V6とV7の機能差分の一覧資料</b> 等を販売店へ公開し、スムーズに移行できるよう尽力いたします。 <b>V6とV7は同一PC上にて、NLの場合は、一つのライセンスにてどちらも起動できますので、まずは、V6で作成されましたシナリオをV7で実行し、問題がないかご確認</b> お願いします。 実行速度の調整、アクティブ失敗の問題については改善できないか検討中です。
IEサポート終了に向けて、現シナリオの修正をどう進めていけばいいか？Edgeのテスト環境が準備できていないものもあり、早く、確実に変えていく工夫や補助ツールのものがあれば聞きたいです。	お客様の環境のブラウザのポリシーについてご確認ください。 EdgeのIEモードを利用するか？他のブラウザへ乗り換えていくのか？  方針により対応が変わりますが、XPathの設定方法の一手法についてご紹介しましたのでご参考ください。
Edgeに変えるくらいならchromeですかね？？やっぱイマドキなら。	Edgeの中身もChromeですので、OSバンドルであったり、IEモードが必要か否かといったご要件にあわせ、お選びください。
初めて導入するお客様へは、バージョン6と7のどちらがお勧めですか？ 開発PCの画面の大きさが小さい→ver6、大きい→ver7 かなあと思っているのですが・・	Ver.7のほうがシナリオ作成、実行に便利な機能が追加されておりますので、初めて導入されるお客様へはVer.7をお勧めください。
不具合や改善の要望などがある場合、どうするのが一番NTT-AT様に伝わりますか？	販売店経由で頂いたコメントは、弊社規定に基づいた期間内で回答させていただきますので確実です。 <b>Twitterで#WinActorのタグ</b> にてつぶやいて頂ければ対応いたしますが、確実度は下がります。
資料早くて見えなかった。。。connpassで共有いただけますか？	XPathの設定手法の一手法についての資料は販売店へ公開しておりますので、販売店経由にて入手をお願いします。 <b>winactor.biz</b> での公開については検討いたします。
リリースノート、コミュニティ経由でもらえませんか？	リリースノートについて、 <b>winactor.biz</b> にて公開できないか検討いたします。
リリースノートは資料に同梱していただきたいです...	資料のファイルサイズが肥大化していることは課題と考えており、winactor.bizにてリリースノートを公開できないか検討いたします。
理财に同梱してほしい！ほんそれ！	資料のファイルサイズが肥大化していることは課題と考えており、winactor.bizにてリリースノートを公開できないか検討いたします。
UIAutomastionで、アプリ画面上のグリッド部品(=スプレッドシート)を、丸ごと、2次元配列なりcsvなりに、一気に取得する方法は、ありますか？ (または、実装予定になっていますか？)	現時点計画にはありませんが、Ver.7.2.1の部品を組み合わせ、サブシナリオとして作成することはできそうな機能と感じています。どのような形で公開できるかは検討させていただきます。 お待ちいただけない場合には、ぜひサブシナリオの作成をお試ください。
リリースノートは公式ページで公開していただきたいです。導入にあたっての情報収集の段階なので代理店に問い合わせるのがまだ社内で憚られる状態なので、、	検討の段階でもぜひ販売店へお問い合わせいただきたいですが、リリースノートについて、winactor.bizにて公開できないか検討いたします。
サブシナリオを自作可能でしょうか？サブルーチン使うよりもシナリオの保守性がグッと上がりそうですし他のツールにはあったので、ずっと欲しかった機能です。	サブシナリオは自作可能です。 ドキュメントフォルダ\WinActor\subscenarios配下にシナリオファイルを配置し、更新ボタンをクリックいただくことで、サブシナリオ画面に表示されるようになりますのでご利用ください。  ただし、NTTATフォルダ、NTTAT.jaフォルダ配下は変更されることがありますので、他のフォルダをご利用ください。
管理機能は欲しいですよ、もちろん。でも費用対効果が出せるか...そのあたりのコツというか生々しいアドバイス欲しい	WMCは、主にWinActor管理、シナリオ実行管理、フローティングライセンス管理などの機能を提供していますので、まずはこれらのうちのどれかに目的を絞って導入していただくのも一つの案と考えます。WinActor管理やフローティングライセンス管理であれば、ライセンス利用状況を確認して適正な本数の契約更新をするためのデータとするとか、シナリオ実行管理であれば、XX本のシナリオの実行管理をして、YY分の業務自動化を実現したので、このくらいのコスト削減に繋がったとかの実績管理にも役立つデータが取れると思います。
Manager on Cloud便利だし欲しい。実際WinActorを何ライセンスくらい契約してる企業から導入効果出せてますか？元が取れるラインを知りたい。	ご利用いただいている本数は非常にバラけていて、導入5本程度でもWMCをご契約いただいているケースもありますし、100本近くのWinActorでご利用いただいているケースもあります。少ない本数の場合は、業務シナリオを多数登録し、夜間や提示スケジュールで無人ロボットを効率よく運用しているようなお客様もいらっしゃいます。多いケースは全社でフローティングライセンスを共有したり、WinActorの実行ログ収集に使っているパターンも有るようです。先の質問ともかぶりますが、費用対効果とか採算ラインは、利用方法によって変わってくると思いますので、まずは何か一つの利用モデルに絞った場合のコストでご検討いただくのが良いと思います。

うーん、興味あるけど使いこなせるかなぁ。ガッツリ支援入ってもらえるなら良いけど。このあたりはユーザーだけで進めるのは無理がありそう。	利用の目的を明確にするのが良いと思います。まずはお困りごとを販売店様にご相談ください。
あれ？データさんの管理のやつと違うんでしたっけ？	NTTデータ社製管理製品はWinDirector、NTT-AT製はWinActor Manager on Cloudとなっております。提供機能は現在ほとんど差はありません。オンプレ型で利用されたい場合はWinDirector、クラウドサービス利用可能な場合はWinActor Manager on Cloudとお考えください。
WinDirectorユーザーです。 Manager on CloudはUIが結構違うみたいですね。 <a href="https://www.systema-rpa.jp/pdf/">https://www.systema-rpa.jp/pdf/</a> 【システナ】管理統制ツール製品のご紹介.pdf 両者の機能は、ある程度同期を取ってる感じでしょうか？	UIは異なりますが、提供機能はほぼ同じとなっております。 ご指摘の資料のWMCの画面は古いバージョンとなっております。
WinDirectorとManager on Cloudは、なぜ、提供元が違うのでしょうか？	NTTデータが先行して管理製品を開発、販売し、後発でNTT-ATで管理クラウドサービスの提供を開始させていただいたという経緯になります。。。現在、WinDirectorの核となる部品もNTT-ATが製造したソフトウェアを使っており、機能は殆ど同じになっております。
WMCとDirectorの違いはどうなんでしょ？	オンプレ用途とクラウドサービスの違い、となります。
WinDirectorとManager on Cloudの違いを一言でいうと...なんでしょうか？	オンプレ用途とクラウドサービスの違い、となります。
WMCって略すのがツウってことね！ラジャ！（プロレス団体とトイレの間みたい）	書くときは「WMC」、呼ぶときは「マネージャーオンクラウド」、WMCの開発・運用の現場メンバーは皆そのようにしています。
関係ないですがミツ氏の代理店に対するツッコミのツイートが響きました(実は私代理店... WinActor解約された経験もかなり持ってます、そしてWMCはまあ売れません...)	
稼働状況のCSVファイルは、一括でDLできますか？	一括でDLできます。まず検索して期間や対象を絞り込んでから、検索結果をダウンロードすることもできます。
ライセンスの使用状況を把握するにはCSVを分析するしかないのでしょうか？ダッシュボードでまとめて観たい...	ダッシュボードのグラフで大まかな傾向を見て頂き、細かいところはCSVで手元で加工してみていただくことを想定しております。
マネクラ vs WMC(だぶりゅえむしー) どっちでいきましょうか？	書くときは「WMC」、呼ぶときは「マネージャーオンクラウド」、WMCの開発・運用の現場メンバーは皆そのようにしています。「マネクラ」は初めて聞きました。。。(´;`)
WMC、CSVを加工するためのExcelを提供いただけると嬉しいなー♪	検討します。
ありがとうございます。・・・できれば、1台ずつ、稼働状況を見たいもんですよね・・・	イベントログである特定のWinActorの稼働状況、ライセンス払い出し状況をを確認していただくこともできます。
今日でEOSになるバージョン5.3 FL での、WMC接続は、いつまで可能な予定でしょうか？	WinActor v5.3自体のサポートは2021/5/31で終わりとなりますが、現状ではWMCへの接続を制限する予定はありません。できるだけ早めのバージョンアップのご検討をお願いします。
WMCのGIP制限を必須項目から抜いていただけませんか？既に抜かれていますか？シナリオのアップロードはロールで制限しているので、実行結果や再実行をモバイルや事務所以外からも実施したいです。	対応方法について検討します。
バージョンアップのやり方自体、もっと簡単にならないでしょうか。(代理店に寄るのかもしれませんがわかりにくく毎回苦戦します・・・)	オンラインアップデートについて検討しておりますので、お待ちください。
ウィンディレクターは正常終了も通知がきますが、WMCは異常時のみの通知です。日により処理件数が異なる場合は正常終了も通知が欲しいのでショックでした。	WMCも次のバージョンから、正常終了時にも通知を出せるようにします。ご期待ください。
パワーオートメイトデスクトップをウインアクターで操作できるようになるなら、パワーオートメイトデスクトップをエックスパスのコンバータのように使えるようになったりするのでしょうか？	Power Automate DesktopとWinActorを連携させることが可能かどうか検討中です。
社長や決裁権者を説得できるような資料や事例が欲しいです。代理店さんからは機能の話ばかりなので。	事例を提供できるように検討したいと思います。
今だからこそ聞きたい、WinDirectorとマネクラ、両方必要ですか？	どちらか片方あれば十分だと思います(^_^)
WinActorManagerOn ぶれみず って出ないんですか？	おんぶれみず利用であればWinDirectorをご検討くださいm(_ _)m
hinemos&WinActorの分析ツールとWMCとの違いを知りたいです	WMCの方がWinActorの詳細な稼働状況を取得できると思います。
ウィンディレクターはメンテナンス日がなかったですが、WMCは第三月曜日がメンテナンス日です。実際は朝1～4時とかなのですが、毎日同じ時間に夜間処理をしようとしている部門からは困惑されます。	WMCの定期メンテナンス日を毎月第3月曜日0時～5時に設定しているのは、メンテナンス項目をできるだけまとめて対応し、お客様にも対応しやすくしていただくためです。なお、毎月必ず定期メンテナンスをしているわけではなく、5時間サービス停止をしているわけでもありませんので、その点をご承知おください。2020年度の定期メンテナンス実績は3回でした。メンテナンスの作業概要とおおよそのサービス停止時間は、メンテナンスの4週間程度前を目処にbizサイト( <a href="https://winactor.biz/">https://winactor.biz/</a> )に掲載しております。